学校番号 C2101　桃谷（通）　　令和2年度 保健体育科

科目名 ：	体育１	単位数 ： 3 単位	必要スクーリング出席回数： 15 回
使用教科書 ：高等学校 改訂版 保健体育 （第一学習社）			
学習書 ・副読本 ：：最新スポーツルール２０２０ （大修館書店）			

	年間総数	１範囲	２範囲	３範囲
レポート [R]	6 枚	2 枚	2 枚	2 枚
スクーリング [S]	30 回	11 回	10 回	9 回
テスト [T]	1 回	×	×	○
その他 （課題・実習等）	テストが合格点に達しない場合は再テストを実施			

1 担当者からのメッセージ（学習方法等アドバイス）

・レポートは空欄があると再提出となります。すべて記入したうえ、各レポートの提出期日を目安に早めの提出を心がけましょう。
・学校指定の体操服はありません。各自でジャージやTシャツ、体育館用とグラウンド用のシューズなどを準備し、スクーリングの開始時間に遅れないよう、運動できる服装に着替えて活動場所に集合しよう。
・急な体調不良等による「見学」での出席は認められません。長期にわたり運動を制限されている場合は、事前に担当者に相談してください。

2 学習の到達目標

・実技を通して、集団で運動する楽しさや体を動かすことの喜びを感じる。
・自分自身の健康や体力の状態を意識し、安全に楽しく運動するために協力する姿勢を身につける。
・レポート学習を通して、スポーツの文化的側面について理解を深め、スポーツが現代社会において重要な位置を占めていることを知るとともに、その背景を理解する。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a：関心・意欲・態度	b ：思考・判断	c ：運動の技能	d ：知識・理解
観点の趣旨	自ら進んで運動の楽しさや喜びを味わおうとする。 健康や安全に留意しながら学習に主体的に取り組もうとする。 人と協力しながら運動を楽しむ姿勢を身につける。	知識を活用し、技能の向上につなげる。 仲間と運動を楽しむためにどうすればよいかを考え、工夫する。	記録や技能の向上に挑戦する。 仲間と連携・協力して各種目を楽しむ。	スポーツの歴史や文化的側面について理解する。 現代社会とスポーツの関係や現代社会におけるスポーツの重要性を理解する。 安全に運動をおこなうための方法を理解する。
評価方法	・スクーリング （出席状況、受講態度の観察） ・記述の点検 （レポート）	・スクーリング （受講態度の観察） ・記述の点検 （レポート） ・定期考査	・スクーリング （出席状況、受講態度の観察）	・スクーリング （受講態度の観察） ・記述の点検 （レポート） ・定期考査

・年度末に５段階で評価する。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点 a	b	c	d	単元(題材)の評価規準	評価方法
1範囲	体育理論 球技 体つくり運動	体育理論 スポーツの起源と変遷 わが国発祥のスポーツ 男子 球技：ネット型 ソフトバレー 女子 球技：ゴール型 ハンドボール 体つくり運動 ボールを使った運動	○	○	○	○	a:人と協力しながら運動を楽しむ姿勢がみられる。 b:ルール等を理解し、簡易ゲームでのプレイにいかそうとしている。 c:それぞれで使用するボールの特性を理解し、ボールの扱いに習熟する。 d:レポート作成を通してスポーツの歴史について理解している。	・スクーリング ・レポート
2範囲	体育理論 球技 陸上競技	体育理論 現代のスポーツ オリンピックムーブメント 男子 陸上競技 球技：ゴール型 ハンドボール 女子 球技：ネット型 バドミントン 卓球	○	○	○	○	a:自己の記録や運動技能の向上に関心を持って取り組むことができる。 b:ルール等を理解し、簡易ゲームでのプレイにいかす。競技の特性を理解し、記録や技能の向上につなげる。 c:ラケット操作を身につけ、シャトルやバウンドするボールに対応できる。 d:レポート作成を通してスポーツの発展とオリンピックの意義について理解する。	・スクーリング ・レポート
3範囲	体育理論 球技	体育理論 ドーピング スポーツの経済効果 男子 ゴール型 サッカー ネット型 卓球 女子 ネット型 ソフトバレー ゴール型 バスケットボール	○	○	○	○	a:人と協力しながら運動を楽しむ姿勢がみられる。 b:ルール等を理解し、簡易ゲームでのプレイにいかす。 c:それぞれで使用するボールの特性を理解し、ボールの扱いに習熟する。 d:レポート作成を通してドーピングの背景とスポーツが経済に与える影響について理解する。	・スクーリング ・レポート ・定期考査

※ 表中の観点について　a：関心・意欲・態度　　b：思考・判断
　　c：運動の技能　　d：知識・理解

※ 原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。